

令和3年度 公益財団法人長岡市国際交流協会 事業報告

※新型コロナウイルス感染症拡大により訪問・受入事業を中止または来年度に延期し、代替事業を実施した。

第1 都市間交流の推進

オンラインを活用し、姉妹都市との市民レベルの交流を活発に展開した。

1 姉妹都市フォートワース市(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					8/21			フォートワース文化理解講座【代替】	FW姉妹都市協会理事のカルロ・カピュア氏ほか2名を講師にお招きし、オンラインでフォートワースの食、歴史、名所などを紹介してもらうことで、フォートワースについて理解を深める機会を提供した。参加者:42人
2					6/5	6/19		フォートワースリモート交流【代替】	市内高校生と長岡を訪問予定であった高校生及び大学生をオンラインで繋ぎ、文化紹介やグループディスカッション等を通じて交流を深めた。参加者:長岡側17人、FW側11人
3					11月	令和4年5月		トリニティバレー校とのオンライン家族交流【代替】	トリニティバレー校に通う生徒の家族と長岡の家族がペアを組み、メールやスカイプを通じ家族交流を行うもの。交流期間はトリニティバレー校の秋学期、春学期、または両学期間。長岡からの申込家族数:9家族(うち3家族がペア成立)

2 姉妹都市トリアー市(ドイツ連邦共和国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					12/11	12/12		ドイツ文化理解講座【代替】	NPO法人ながおか未来創造ネットワーク主催の「CHRISTMAS★MARKET」にて、ドイツ出身の上越市国際交流員によるドイツ文化理解講座の開催やフォトパネルの展示などを行い、ドイツの姉妹都市やクリスマスについて紹介した。
2					4月	9月		トリアープロモーションビデオ作成【代替】	長岡にいながらトリアーについて理解を深めることを目的に、トリアーの自然や名所などを紹介するプロモーションビデオを作成した。完成したビデオはSNSで公開のほか、CHRISTMAS★MARKETにて上映した。

3 姉妹都市ホノルル市・郡(アメリカ合衆国)との交流事業

No.	受入人数		訪問人数		期 間		回数	項 目	内 容
	生徒	大人	生徒	大人	始期	終期			
1					7/3	7/4		アロハフェスティバル	長岡アロハクラブ主催のハワイの祭典アロハフェスティバルにて、ホノルル市との交流のあゆみの展示を実施し、ハワイの文化や歴史への理解を深める機会を提供した。
2					12/8			ホノルルオンライン平和学習(中学生向け) 【代替】	長岡市立南中学校2年生(145人)とホノルル市・ミラニ中学校をオンラインで繋ぎ、南中学校による平和学習のプレゼンテーションや平和に関する意見交換を行った。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業)
3					1/27			ホノルルオンライン平和学習(小学生向け) 【代替】	長岡市立中島小学校6年生(40人)を対象に、オンラインによる前ホノルル市経済開発局長ホーキンス氏からの平和や両市の交流についての講話を通じた平和学習を行った。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業)
4					3/1			ホノルルオンライン文化交流(小学生向け) 【代替】	附属長岡小学校5年1組の生徒(34人)とホノルル市のアイナハイナ小学校日本語クラスの生徒がオンラインで交流した。お互いが相手の言語で文化紹介を行い、文化理解を深めた。
5					3月			ホノルル姉妹都市締結10周年記念事業	ホノルル市との姉妹都市締結から10周年を記念し、ハワイの日系移民をテーマにした映画の上映会&トークショーを実施したほか、中央図書館でホノルル展示コーナーを設置、市民センター内ギャラリーで交流のあゆみパネル展を開催、市内小中学校でハワイにちなんだ給食を提供するなど、10周年の機運を醸成するための事業を実施した。 映画上映会&トークショー参加者:108人

第2 多文化共生の推進

長岡市国際交流センターとの連携や共催・後援事業、その他既存事業をとおして、在住外国人市民との交流を深め、多文化共生の推進を図った。

No.	項 目	内 容
1	むつみ会主催「外国人による日本語スピーチコンテスト」理事長賞 (実施日:10月2日)	在住外国人市民の日本語学習の研鑽の場、長岡や日本文化の発信の場としてのスピーチコンテストで、理事長賞を授与し、外国人市民を支援した。
2	多文化共生セミナー (実施日:11月3日)	長岡グランドホテル・日本料理料理長を講師に招き、異文化理解を深め、多文化共生を推進するとともに、ホームステイ受け入れ時の参考としてもらうため、ヴィーガン、ハラールなど食の多様性をテーマにセミナーを開催した。 参加者:22人
3	留学生応援プロジェクト【代替】 (実施時期:6月及び12月)	(株)原信及びフードバンクながおかの協賛により、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、不都合な生活を強いられている市内在住の留学生に対し、食料品等の配布を通じて支援を行った。配布実績:全8校、延べ451人

第3 人材育成事業

No.	項 目	内 容
1	国際ソロプチミスト長岡主催「高校生英語スピーチコンテスト」協会賞 (実施日:5月22日)	高校生の英語力向上や青少年の国際理解・国際交流の推進のため、高校生英語スピーチコンテストで国際ソロプチミスト・長岡市国際交流協会賞を授与した。
2	原信presents輝け！高校生プログラム【代替】 (実施日:7月3日、11日、17日、8月7日、8日)	(株)原信から運営資金の提供を受けて実施。 高校生を対象に、グローバルな視点で問題意識を持ち、解決に向け自らグローバルに行動することのできる人材を育成するためのプログラムを開催した。 参加者:15人
3	(公財)長岡市米百俵財団主催「米百俵未来塾」への参画(国際交流協会主管事業の実施日:10月2日)	長岡開府400年を契機に、“新しい米百俵”として、開府400年記念の寄附金を活用して開催される「米百俵未来塾」に、市内5つの関係団体とともに共同主催として参画。小学4年生から中学3年生の塾生24人に対し、年間を通して各団体が1講座ずつ実施し、多様な学びの場を提供する事業。 当協会は「世界はトモダチ！～違いを学び、認めあう～」と題して、県内に住んでいる留学生へのインタビューを通してお互いの文化の共通点や違いを発見することで、お互いの価値観を理解しあう多文化共生社会について考える講座を開催した。
4	ながおか魅力発見講座【代替】 (実施日:9月18日、10月9日、23日、11月13日)	高校生を対象に、長岡の文化や歴史に触れ、長岡の魅力を再発見するとともに、自ら世界に発信する力を身につけることを目的としたプログラムを実施した。「水と大地と豊かさ」をテーマに、留学生とのフィールドワークなどを行った。参加者:8人
5	ワールドリーダーズセミナー (実施日:1月30日)	JICA、JALの職員を講師に招き、仕事内容の紹介や体験談などを通じ、青少年に将来の進路や職業を考えるためのヒントを得る機会を提供した。(長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」事業) 参加者:延べ26人

第4 会員相互連携事業

No.	項 目	内 容
1	協会機関紙「HOWDY」発行(年3回)	協会の機関紙(市の事業案内含む)を年3回(4月、9月、1月)発行した。